取扱説明書 改訂版①

プレートコンパクター

HG-CH50

初めてお使いになる方、他社製品を使用し慣れている方

ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みになり、
内容を理解してからお使いください。

燃料	無鉛レギュラーガソリン

**エンジンオイルは
入っていません。**

この QR コードを
読み取ることで、
本製品の運転の仕方などを
動画でご覧いただけます。
詳細は、P.7 をご覧ください。

HAIGE

目　次

はじめに 3

安全上のご注意
製品を長くご愛顧いただくために

安全にお使いいただくために 4

プレートコンパクターに係る安全事項・・・・・・4
プレートコンパクターの作業に係る事項安全・・・5

主要諸元 6

各部の名称 7

梱包部品一覧 8

組立て 9

ハンドルの立て方・・・・・・・・・・・・・・・9

運転前の点検 10

燃料の点検・補充 ・・・・・・・・・・・・・・・10
エンジンオイルの点検 ・・・・・・・・・・・・・11
起振体オイルの給油 ・・・・・・・・・・・・・・12
エアクリーナーの点検 ・・・・・・・・・・・・・13

運転操作の仕方 14

エンジンのかけ方 ・・・・・・・・・・・・・・・14
エンジンがかからない時 ・・・・・・・・・・・・17
エンジンの止め方 ・・・・・・・・・・・・・・・17
本機の移動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
移動用ローラーを戻す ・・・・・・・・・・・・・18

作業の仕方 19

作業手順 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
作業の中断 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
作業の終了 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
運搬、輸送について ・・・・・・・・・・・・・・20

点検・整備の仕方 21

燃料の抜き方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・21
エンジンオイルの交換 ・・・・・・・・・・・・・21
起振体オイルの交換 ・・・・・・・・・・・・・・22
点火プラグの点検・清掃 ・・・・・・・・・・・・23
Vベルトの交換 ・・・・・・・・・・・・・・・・24

長期間使用しない時 25

保管 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

故障かな？と思ったら 26

消耗品一覧 28

FAX 見積り・注文用紙 29

保証内容について 30

お客様ご相談窓口 31

はじめに

このたびはプレートコンパクターをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。
●表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
●すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。

⚠ **警告**	誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。
⚠ **注意**	誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。

⊘ **禁止**	取扱においてその行為を禁止します。	❗ **指示**	指示に基づく行為を強制します。

製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。
注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。下記を熟読しご理解してからご使用ください。また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

プレートコンパクターに係る安全事項

⚠ 警告

禁止	・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。 ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。 ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。 ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。 ・回転している部分の近くに手又は足を入れないでください。 ・回転部分のカバーを取り外して運転しないでください。 ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意ください。 ・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。 ・指定された用途以外には使用しないでください。 ・正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。 ・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。 ・操作の仕方をよく分からない成年者でも独自の使用はご遠慮ください。
指示	・ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上ご使用ください。 ・運転中は、排気ガスに十分注意してください。 ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。 ・燃料をこぼさないように注意してくだい。所定のレベルを超えて補給しないでください。 ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭き取ってください。 ・燃料キャップは確実に締めてください。 ・必ず両手でしっかり本体を保持してください。 ・エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。 ・始動前点検を実施してください。 ・本機を搬送の際、積み込み、積み下ろしは二人で行ってください。

⚠ 注意

禁止	・指定された用途以外には使用しないでください。
指示	・燃料はレギュラーガソリンを使ってください。 ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。 ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。 ・部品交換は、純正部品を使用してください。 ・本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。 ・定期点検整備を行ってください。 ・子供の手の届かない安全な場所に保管してください。

安全にお使いいただくために

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。下記を熟読しご理解してからご使用ください。また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

プレートコンパクターの作業に係る安全事項

⚠ 警告

禁止	・身体の調子が悪い時、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。 ・ベルトなど回転部分に顔や手足を近づけないでください。 ・ご使用時は、子ども、動物、ペットを近づけないようご注意ください。 ・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。 ・足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。 ・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
指示	・石、コンクリート、金属など硬質な物がある場所では使用しないでください。 ・本機から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。 ・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。 ・傾斜地で作業を行う場合は、転倒に十分ご注意ください。

⚠ 注意

禁止	・機械の可動部分に絡まるような衣服は着用しないでください。 ・エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。
指示	・すべりにくい靴、手袋、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。 ・本機を長時間保管する時は、取扱説明書にしたがって保管してください。

主要諸元

モデル名	HG-CH50
型式	LONCINエンジン
排気量	79cm³
出力	1.4kw/3600e/min
燃料	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク容量	1.6L
オイル	10W-30
オイルタンク容量	0.35L
起振体オイル	作動油46
起振体オイル容量	0.15L
起動方式	リコイルスターター方式
振動数	5210vpm
起振力	8.5Kn
速度	15m/min
連続稼働	約2時間
プレート面積	440×300mm
起振クラッチ	遠心クラッチ
伝達方式	Vベルト
互換点火プラグ	NGK BPR7HS
寸法	L880×W350×H885mm
重量	45.4kg

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。

梱包部品一覧

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、すべてが完全であることを確認してください。
2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に 1 週間以内に連絡をしてください。
3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。

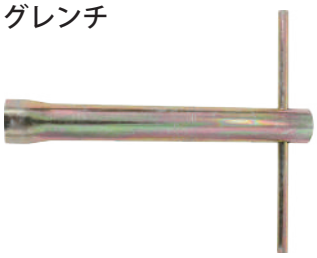
不足している場合は、お手数ですがハイガー産業株式会社までご連絡ください。

⚠ 警告

・不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

A. 本体

B. プラグレンチ



※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。

組立て

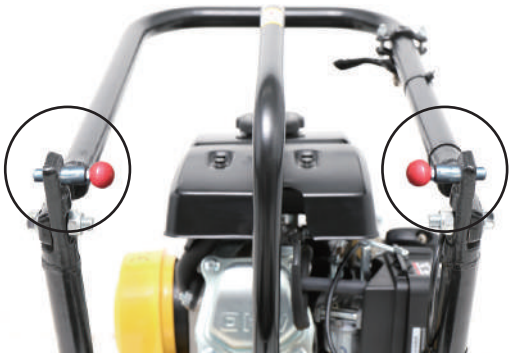
⚠ 警告

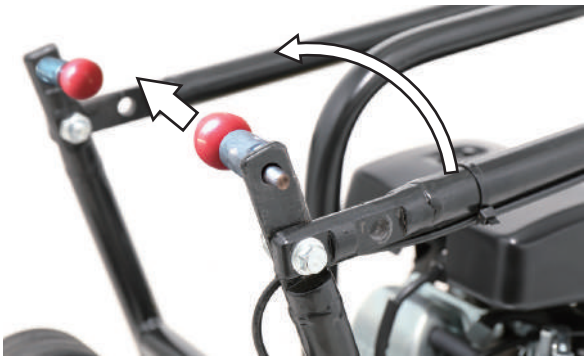
・組立ては平坦な場所で行ってください。不安定な場所で行うと本機が倒れ、けがにつながる恐れがあります。
・組立作業中周囲に子供やペットが近づかないよう配慮をお願いします。
・組立後は、すべての部品が確実に取付けられていることを確認してください。

本機は組立完成品です。

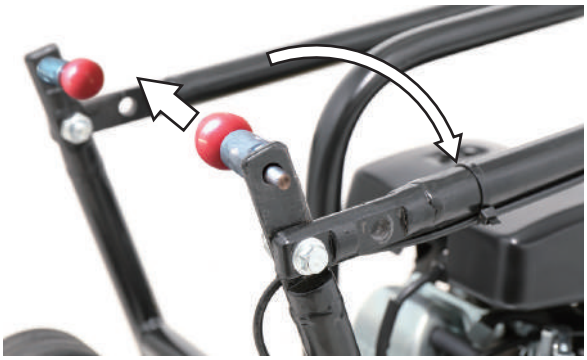
ハンドルの立て方

1 左右のノブを引張り、ピンを解除し、上ハンドルの穴にピンを入れることで固定されます。





2 ハンドルを折りたたむ場合は、ノブをを引張り、ピンを解除した状態でハンドルを折りたたみます。



運転前の点検

⚠ 警告

禁止	・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。 ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。 ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
指示	・燃料を補給する時は必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。 ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。 ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。 ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。

⚠ 注意

指示	・燃料キャップは確実に締めてください。 ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜取り、火気のないところに保管してください。 ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。

燃料の点検・補充

使用燃料	自動車用無鉛ガソリン(レギュラーガソリン)
タンク容量	1.6L

燃料（無鉛ガソリン）の量を点検します。
出荷時は入っていません。

燃料(無鉛ガソリン)の量を点検します。

■点検手順

1 燃料タンクキャップを外し、液面を見て残量を確認します。

2 少ないときは上限（赤い目印）の位置まで補給します。

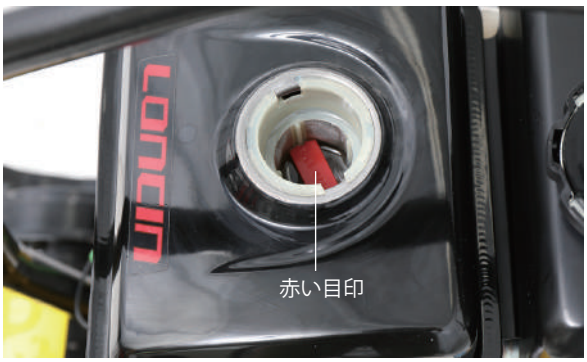
3 点検後、燃料キャップをしっかり締めます。

■給油方法

⚠ 警告

・エンジンをかけたまま絶対に給油しないでください。重大な事故に繋がります。
・屋内で絶対に給油しないでください。
・火気のそばで絶対に給油しないでください。

1 無鉛レギュラーガソリンを少しずつこぼさないように、上限(赤い目印)の位置まで給油します。



2 給油が終わったら燃料キャップをしっかり締めます。

運転前の点検

エンジンオイルの点検

エンジンオイルは出荷時には入っていません。
必ず給油してください。また、工場で試運転をしているため、若干オイルが内部に残っている場合がありますので、給油の際は、こまめにオイルゲージで確認しながら給油してください。

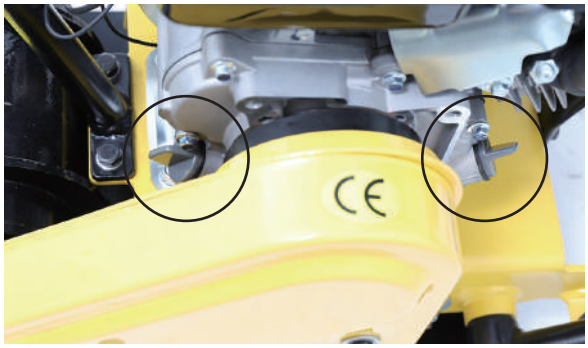
推奨オイル	4サイクルガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30 ・寒冷地はSAE5W-30
オイル容量	0.4L

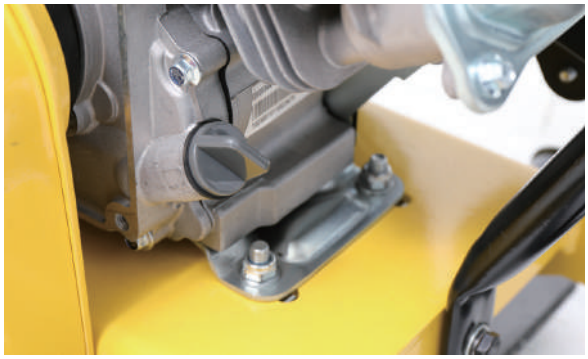
⚠ 注意

・エンジンオイルを規定量以上に給油しないでください。オイル量は多すぎても少なすぎても、始動不良や故障の原因になります。
・こぼれたエンジンオイルは必ず拭取ってください。

1 本体を水平な場所に移動させます。

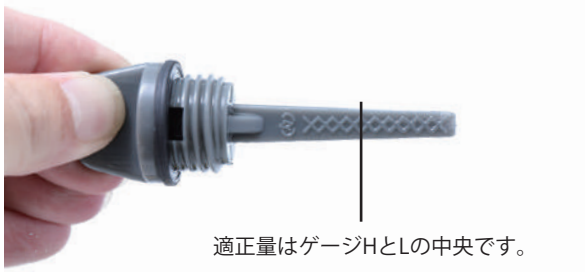
2 オイル給油口は前後 2 ヵ所ありますが、どちらでもかまいません。オイル給油キャップを外し、オイルゲージを布などで拭取ります。





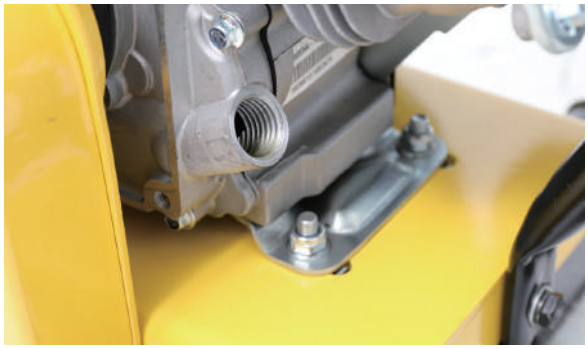
3 オイル給油キャップを取付け締付け、再度取外します。

4 オイルが、オイルゲージのオイル量範囲（中央）まであるか確認します。



適正量はゲージHとLの中央です。

5 オイル量が少ない時は、新しいオイルを補給します。



6 給油が終わったらオイル給油キャップをしっかり締めます。

運転前の点検

起振体オイルの給油

起振体オイルは出荷時には入っています。
起振体オイルは200時間毎に交換してください。（交換方法は、P22参照）

推奨オイル	作動油46
オイル容量	0.15L（目安）

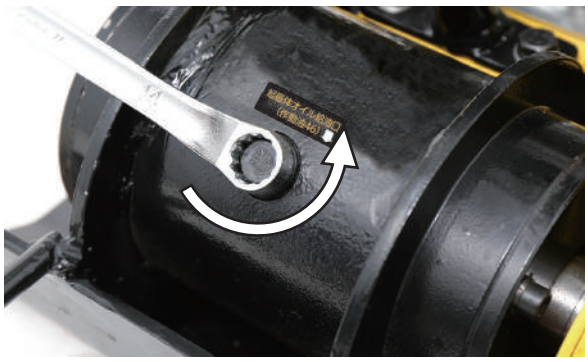
■使用工具：14mm スパナ

⚠ 注意

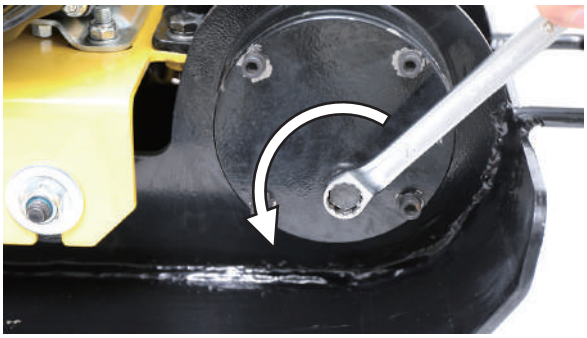
・起振体オイルを規定量以上に給油しないでください。オイル漏れ、転圧不良などの現象が起きます。

1 本体を水平な場所に移動させます。

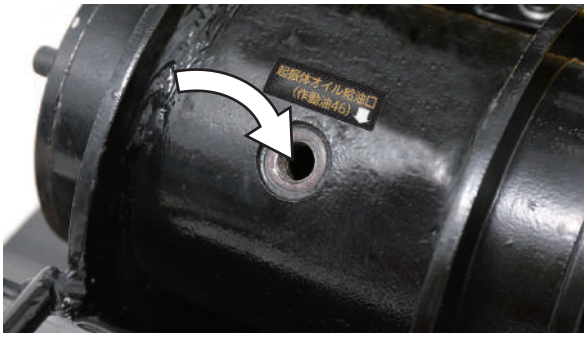
2 起振体正面上部の給油ボルトを 14mm のスパナで反時計回りに回し取外します。



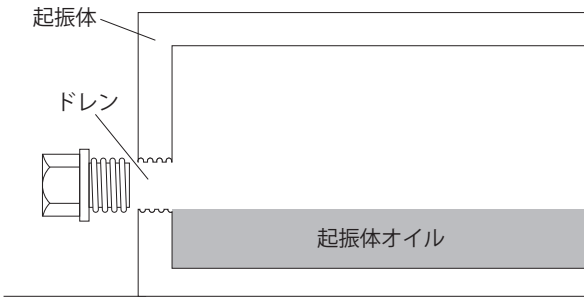
3 起振体側面のドレンボルトを 14mm のスパナで反時計回りに回し取外します。



4 オイルを給油します。
※規定量は 0.15L ですが、工場での試運転の際のオイルが若干残っている場合がありますので、目安としてください。



5 ドレン口すり切りまでオイルを入れます。
※写真のように流れ出る場合は入れすぎです。



6 起振体給油ボルト、ドレンボルトをしっかり締めます。但し、締め過ぎには注意してください。強く締め過ぎると、ボルトの破損やパッキンが必要以上に潰れてしまい漏れの原因になります。

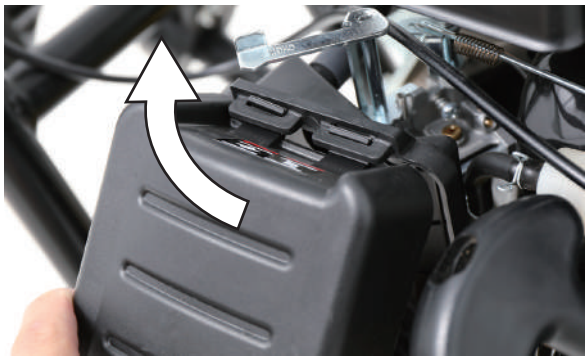
運転前の点検

エアクリーナーの点検

エアフィルタの汚れを点検し、汚れがひどい時は清掃を行ってください。

1 エアクリーナーカバーのノブを回し取外します。

2 エアクリーナーカバーを下から持ち上げ、ツメ部から外します。



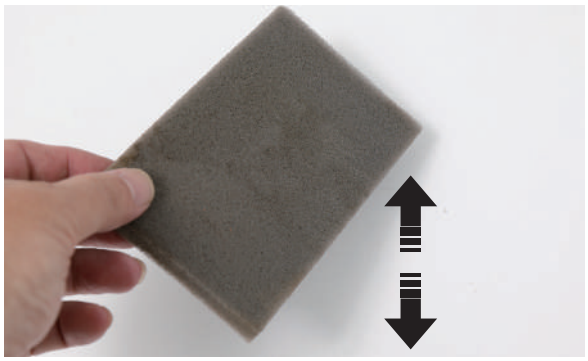
3 エレメント、フィルタ（ウレタン）を取外し、汚れを確認します。

4 エレメントの汚れをはたき落とすか、エアブロー等で吹き飛ばします。汚れがひどい場合、汚れが取れない場合は、交換が必要になります。

⚠ 注意

・ブラシなどで汚れを落とさないでください。
エレメントが破れる恐れがあります。

5 フィルタ（ウレタン）の汚れをはたき落とします。汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めたぬるま湯で洗浄します。その後すすぎ洗をししっかり乾燥させます。
汚れが落ちない場合や破れている場合は、エアフィルタの交換が必要になります。



6 取付けは取外しと逆の手順で行います。

運転操作の仕方

⚠ 警告

禁止	・振動障害の予防策として長時間の連続使用はしないでください。 ・燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。 ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。 ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。 触れるとやけどをすることがありますので高温部に触れないでください。
指示	・平坦な場所で作業を行ってください。 ・エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。 ・本機から離れる時は必ずエンジンを停止してください。 ・少しの移動でもエンジンを停止してください。

⚠ 注意

・エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

エンジンのかけ方

☑ レギュラーガソリンを入れましたか？

☑ エンジンオイルを入れましたか？

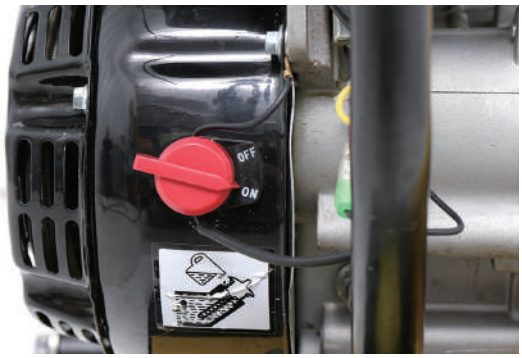
☑ 起振体オイルを入れましたか？

☑ エアフィルタの汚れ確認しましたか？

1 アクセルレバーを、「かめマーク側」から1～3段回転数を上げます。
※エンジンの温まり具合によります。

3 エンジンスイッチを「ON」にします。

ON

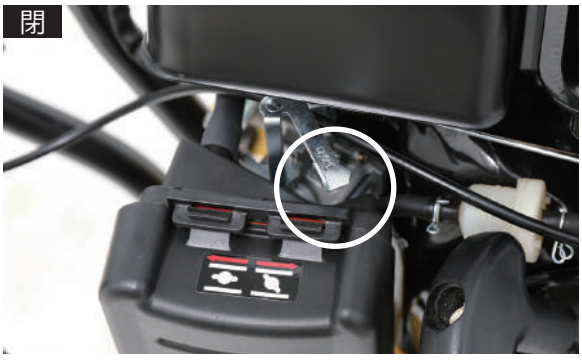


■エンジンが冷えている時のかけ方

※外気温には関係なく、エンジンそのものが冷えている場合です。翌日の再始動などがこれに当たります。

1 チョークレバーを「閉」にします。
※写真の位置が「閉」です。

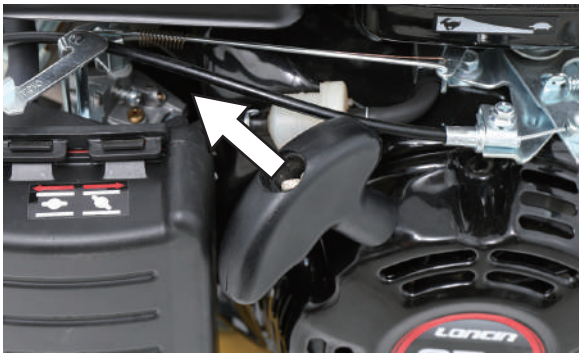
閉



※運転停止直後の再始動をする場合には、チョークレバーを「全開」もしくは「半開」にします。

運転操作の仕方

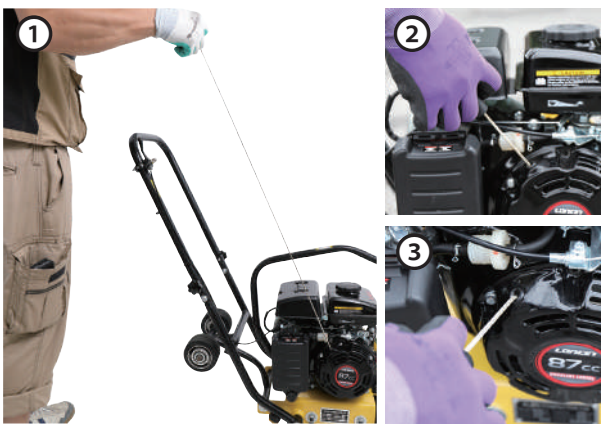
2 本機をしっかり保持し、リコイルスターターロープを引きます。
※ロープを引き出すと止まる位置があるので、そこから素早く引きます。おおよそ80 ～ 90cm 引きます。（ロープは一杯に引ききらないでください。）引きが少ないとエンジンはかかりません。



⚠ 注意

何度もチョークを閉じたままリコイルスターターロープを引くと、点火プラグを濡らしてしまいます。万が一、濡らしてしまった場合は、P.25 をご覧ください。

リコイルの引き方ポイント



①良い例：約 80cm 真っ直ぐ引いている所。
②良い例：真っ直ぐ引いている。
③悪い例：抵抗がありエンジンがかかりにくく、ロープが摩擦で切れる。

3 エンジンがかかったらすぐチョークレバーを「開」にします。
※写真の位置が「全開」です。

4 エンジンが始動したら「かめマーク側」で1～2分程度暖気運転をします。

5 エンジンが止まりそうなら、エンジンの回転数を1 段上げます。

6 アクセルレバーをアイドリング「かめマーク側」から運転「うさぎマーク側」の位置へ倒すと、転圧し始めます。

⚠ 注意

・作業を中断する時は、その都度アクセルレバーを「かめマーク側」にしてください。

⚠ 警告

・作業中は、振動板に足を近づけたり、乗せたりしないでください。足を挟まれ大変危険です。
・傾斜地での作業は、転倒に十分注意してください。

運転操作の仕方

■エンジンが温まっている時のかけ方

※外気温には関係なく、エンジンそのものが温まっている場合です。再始動などがこれに当たります。

1 チョークレバーを「全開」もしくは「半開」にします。

※写真の位置が「全開」です。

※写真の位置が「半開」です。

2 本機をしっかり保持し、リコイルスターターロープを引きます。

※ロープを引き出すと止まる位置があるので、そこから素早く引きます。おおよそ70 ～ 90cm 引きます。（ロープは一杯に引ききらないでください。）引きが少ないとエンジンはかかりません。

⚠ 注意

・ロープを最後まで引き切らないでください。
・一度に6回以上は引張らないでください。
・引いたリコイルスターターは途中で放さずに、ゆっくり戻してください。

3 エンジンがかからない場合は、P.15 の「エンジンが冷えている時のかけ方」を行ってください。

4 エンジンが始動したら「かめマーク側」で1～2分程度暖気運転をします。

5 エンジンが止まりそうなら、エンジンの回転数を1 段上げます。

6 アクセルレバーをアイドリング「かめマーク側」から運転「うさぎマーク側」の位置へ倒すと、転圧し始めます。

⚠ 注意

・作業を中断する時は、その都度アクセルレバーを「かめマーク側」にしてください。

⚠ 警告

・作業中は、振動板に足を近づけたり、乗せたりしないでください。足を挟まれ大変危険です。
・傾斜地での作業は、転倒に十分注意してください。

運転操作の仕方

エンジンがかからない時

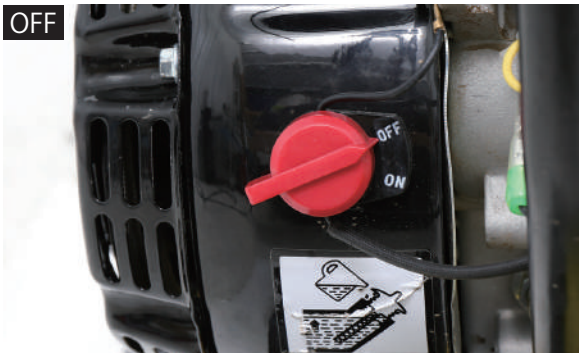
下記をご確認ください。

- ☑ レギュラーガソリンを使用していない。又は古い燃料を使用している可能性があります。
- ☑ チョークレバーを「閉」にしていない。
- ☑ エアフィルタが汚れている。
- ☑ リコイルの引き方が正しくない。
- ☑ 燃料が行き過ぎて、点火プラグを濡らしてしまっている可能性があります。

エンジンの止め方

1 アクセルレバーを「かめマーク側」にし、エンジンを低速運転にします。

2 エンジンスイッチを「OFF」にしするとエンジンが停止します。



⚠ 注意

エンジン停止後しばらくは、エンジン、マフラ等の高温部に触らないでください。やけどの恐れがあります。

本機の移動

近い距離を移動する時は、移動用ローラーを使用します。

1 エンジンは必ず止めてください。

2 ローラーキャッチャーからローラーを外します。

3 ハンドルをしっかり持ち、ハンドルを前方に倒します。

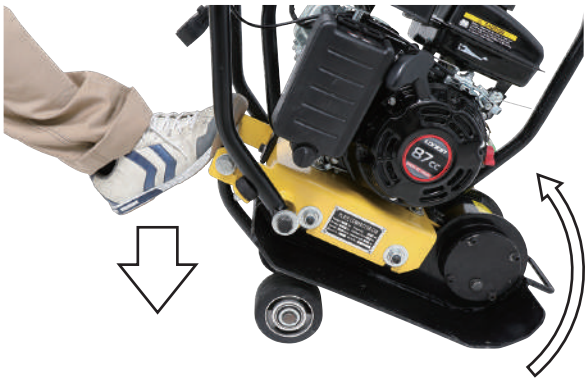
運転操作の仕方

4 本体前方を支点に後方を浮かせ、ローラーを本体の下に来るようにします。

⚠ 注意

足を挟まないよう十分ご注意ください。

5 ローラーを支点に後方を下げます。



6 本体前面を上げた状態でバランスをとりゆっくり移動します。

移動用ローラーを戻す

1 本体を前方に倒し、ローラーを後方に出します。

2 本体を後方に倒し、ローラーをローラーキャッチャーにはめます。

作業の仕方

⚠ 警告

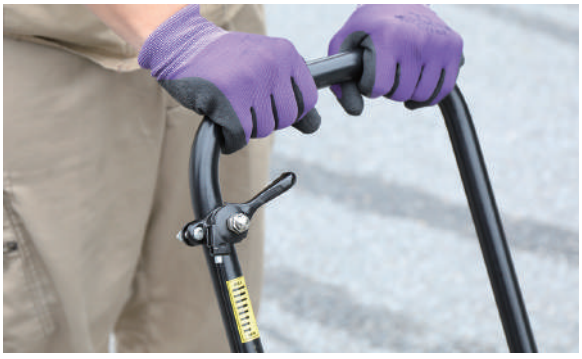
禁止	・本機を連続で長時間使用しないでください。振動障害を発生する恐れがあります。 ・身体の調子が悪い時は、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。 ・動作中に振動板部分の近くに足を近づけたり、足を入れないでください。 ・ご使用時は、使用者から15m内は危険です。人や動物が入らないようにしてください。 ・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。 ・足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。 ・作業中に異物に当たったり、異物が巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、完全に停止してから異物を除去し、本機に異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。 ・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。 ・急傾斜地では使用しないでください。
指示	・本機を1人が連続で長時間使用せずに運転員を交代したり、十分な間隔をあけて使用してください。 ・適切な時期に休憩をとってください。 ・本機から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。 ・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。 ・少しの移動でもエンジンを停止し、ハンドルを持って運搬してください。 ・しっかりハンドルを握って操作してください。

作業手順

1 作業場所の水平な所に移動します。

2 エンジンを始動します。（P.14参照）

3 暖機運転後、ハンドルをしっかり持って、アクセルレバーを「うさぎマーク側」にします。
転圧し始めます。



⚠ 注意

本体を15度以上傾けてのご使用は、起震体シャフトからオイル漏れが起こる場合があります。

作業の中断

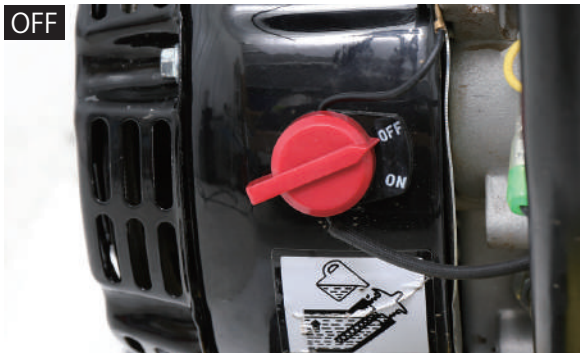
作業を中断する時は、その都度アクセルレバーを「かめマーク側」してください。燃料の節約、エンジンの寿命にも好影響を与えます。

作業の仕方

作業の終了

1 アクセルレバーを「かめマーク側」にしエンジンを低速運転を 1〜2 分行います。

2 エンジンスイッチを「OFF」にします。



⚠ 注意

停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。
触れるとやけどをすることがありますので高温部に触れないでください。

運搬、輸送について

本機を運搬する時は、次のことに注意してください。

⚠ 警告

- 運搬時は必ずエンジンを停止してください。
- 運搬する場合は、燃料漏れによる火災を防止するため、燃料タンクから燃料を抜き取ってください。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので注意してください。
- 作業直後にカバーをかけないでください。エンジンが熱くなっており、火災の原因になります。

⚠ 注意

- 本機を吊り上げる場合は、吊りフック等に損傷が無いか、ネジ等の緩み、脱落がないか、必ず確認してください。

- 本機の積込み、積降ろしする際は、吊りフックを使用してください。
- やむおえず手作業で本機の積込み、積降ろしする際は、足の上に落としたり、挟まれないよう十分ご注意ください。
- 運搬中に本体が動かないように、ロープなどでしっかり固定してください。
- 本機を倒して、運搬、輸送はしないでください。

点検・整備の仕方

⚠ 警告

・点検整備をする時は、必ずエンジンを停止してから行ってください。
・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
・点検整備後は、すべての部品を確実に取付けたことを確認してください。

⚠ 注意

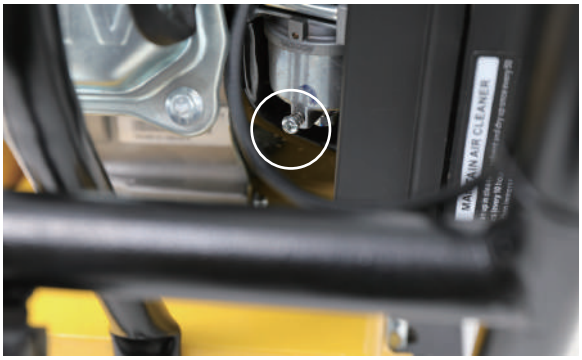
・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

対象部品	点検項目	運転前の点検	初回の 1 ヵ月後又は 20 時間運転後	3 ヵ月毎又は 50 時間運転毎	6 ヵ月毎又は 100 時間運転毎	1 年毎又は 300 時間運転毎	掲載ページ
燃料	ガソリン量、漏れ	●					P.10
エンジンオイル	オイル量	●					P.11
	交換		●	●			P.21
起振体オイル	オイル量	●					P.12
	交換					● 200 時間運転毎	P.22
エアクリーナー	清掃			●			P.13
	交換					●	P.13
点火プラグ	清掃				●		P.23
	交換					●	P.23

燃料の抜き方

1 燃料タンクのキャップを外し、タンク内の燃料を手動のポンプ等で抜きます。

2 〇部分のネジを緩めて、ガソリンを容器に受けます。キャブレターの燃料を抜くことができます。



3 燃料を抜き終わったら、緩めたネジは、必ずしっかり締めてください。

エンジンオイルの交換

エンジンオイルの交換は、初回20 時間、 以降50 時間運転毎に行ってください。

■使用工具：10mm スパナ

1 廃油受けを準備します。

2 本機を水平な場所で水平な状態にします。

3 オイル給油キャップを外すと、オイルが抜けやすくなります。

4 ドレンボルトを外し、オイルを排出します。

点検・整備の仕方

5 排出が終わりましたら、ドレンボルトを確実に締めます。

6 新しいエンジンオイルを、市販のオイルジョッキを使用して入れます。

7 新しいエンジンオイルをレベルゲージの中央まで入れます。

推奨オイル	4サイクルガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30
オイル容量	約 0.4L

⚠ 注意

- エンジンオイルを規定量以上に給油しないでください。オイル量は多すぎても少なすぎても、始動不良や故障の原因になります。
- こぼれたエンジンオイルは必ず拭取ってください。

8 給油後は、確実にキャップを締めます。

起振体オイルの交換

起振体オイルの交換は、200時間運転毎に行ってください。作業は2人以上で行ってください。

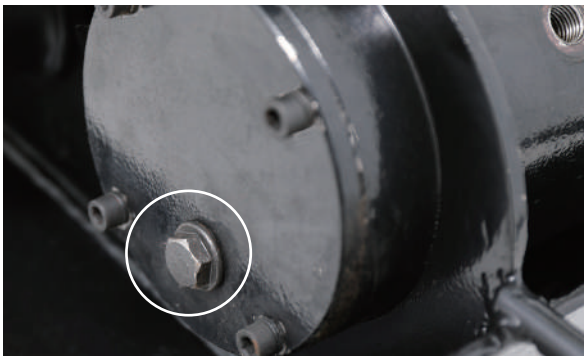
■使用工具：14mm スパナ

推奨オイル	作動油46
オイル容量	0.15L（目安）

1 廃油受け、漏斗を準備します。

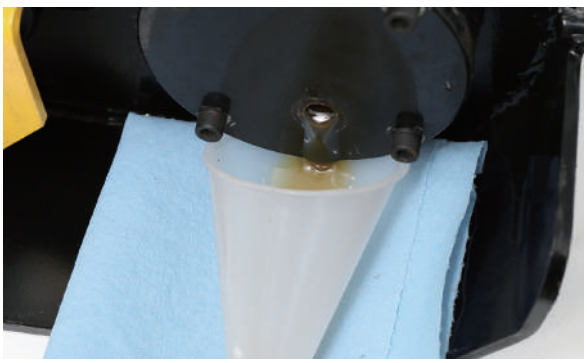
2 オイルが抜けやすいように、給油ボルトを取外します。

3 起振体横のドレンボルトを、14mmのスパナで反時計回りに回し取外します。



4 漏斗をあてがい、廃油受けにオイルが流れるようにします。

5 本体を傾け、ドレンからオイルを排出します。

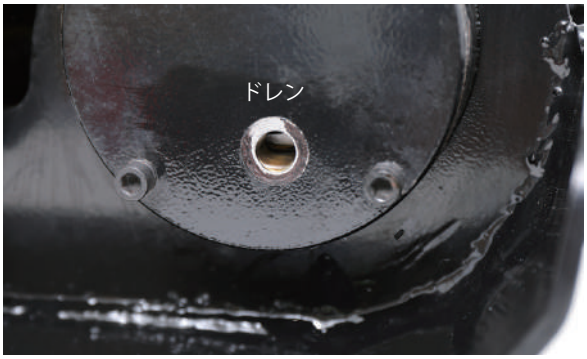


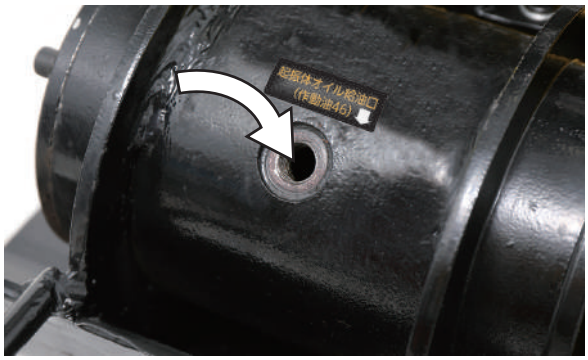
6 オイルは完全には抜けきれません。

点検・整備の仕方

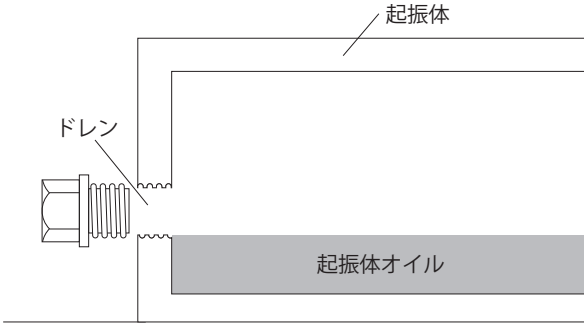
7 おおかたオイルが抜けたら本機を水平にします。

8 ドレンのボルトは閉めずに、給油口から慎重に少しずつオイルを給油します。





9 ドレン口のすり切りまで給油します。オイルは完全に抜けきっていないので、規定量 0.15L より少なくなります。



10 ドレンボルト、起振体給油ボルトをしっかり締めます。但し、締め過ぎには注意してください。強く締め過ぎると、ボルトの破損やパッキンが必要以上に潰れてしまい漏れの原因になります。

点火プラグの点検・清掃

点火プラグを外し、電極の点検・清掃を行います。

■使用工具：プラグレンチ（付属）、ワイヤブラシ

1 点火プラグキャップを取外します。

2 点火プラグをプラグレンチで取外します。

3 点火プラグをワイヤブラシで清掃します。

適応点火プラグ	BPR7HS(NGK)

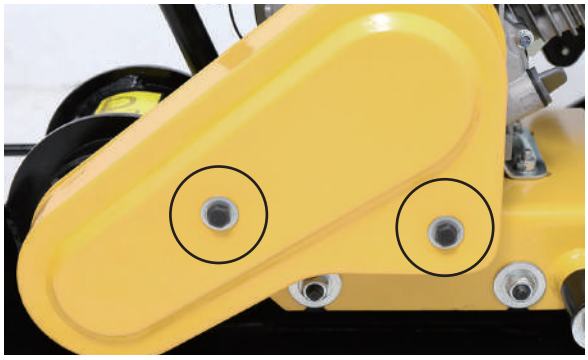
点検・整備の仕方

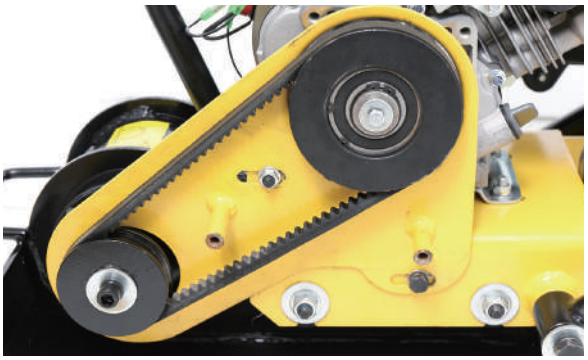
4 取外しと反対の手順で取付けます。
※点火プラグは、点火プラグキャップにしっかりはめてください。はめ込みがあまいと点火しません。

V ベルトの交換

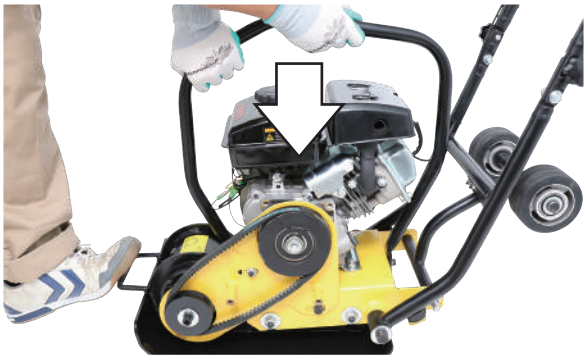
■使用工具：13mmスパナ

1 ベルトカバーを固定しているボルト2ヵ所を外し、ベルトカバーを取外します。

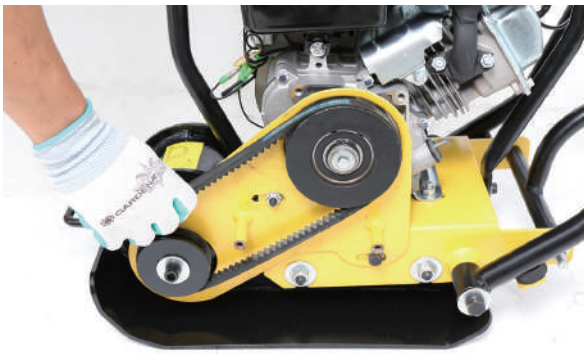


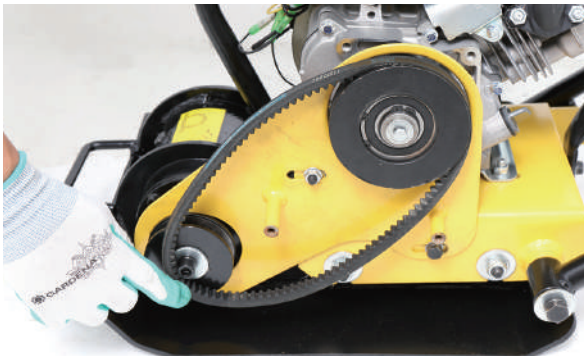


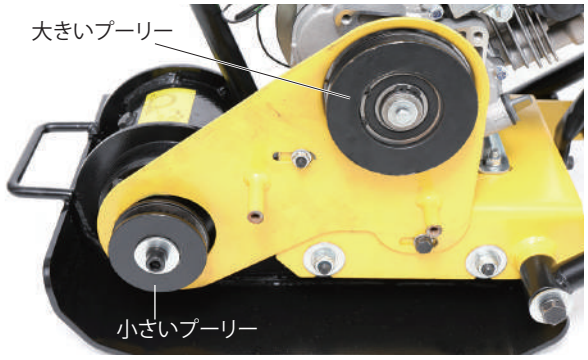
2 吊りフック部に体重をかけるとベルトが緩みます。



3 その状態でベルトを回すと外れます。作業は2人で行うことをおすすめします。







4 新しいベルトを大きい方のプーリーにかけ、吊りフック部に体重をかけながら小さいプーリーにかけます。

5 ベルトカバーを元に戻せば完了です。

長期間使用しない時

●本機を 2 週間以上使用しない時

1 燃料タンクから燃料を抜きます。

2 エンジンをかけ、燃料切れで停止するまで回し、キャブレター内の燃料を使い切ります。余った燃料は、密封容器に入れ、冷暗所に保管し、1ヵ月以内に使い切ってください。

3 各部ボルト・ネジの破損、腐食、緩みの点検をします。

4 湿気やホコリが少なく、子供の手が届かない場所に保管してください。

5 倉庫、物置などに保管する場合は、マフラーからの虫の侵入を防ぐために、マフラーの穴を塞いでください。

保管

1 燃料タンクの燃料を抜取ります。
市販のオイルチェンジャーをご使用いただくと簡単に抜くことが出来ます。

2 エンジンを再び始動させ、キャブレター及び燃料パイプ内の燃料を使い切ってください。

3 屋内の直射日光があたらない場所に保管してください。

故障かな？と思ったら

●エンジンがかからない

症状	原因	対処
点火プラグに火花が出ていない	点火プラグ不良	交換
	点火プラグキャップ接続不良	点火プラグをしっかりはめる
	イグニッションコイルの不良	メーカー、購入店に問い合わせ
キャブレターに燃料が来ていない	燃料がはいっていない	燃料を入れる
	燃料タンク内の異物混入による詰まり	ホース清掃、交換 交換、フィルタ清掃
キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない	キャブレター詰まり（ニードル・バルブ固着）	キャブレター分解掃除 メーカー、購入店に問い合わせ
	エンジンオイルの入れすぎ	オイルを抜く
	エンジンオイルが少ない	オイルを補充（P.11）
	エンジンオイルにガソリンが混ざっている	清掃、交換（P.21）
	エアクリーナーの汚れ	清掃、交換（P.13）
リコイルスターターが引けない又は重い	古い燃料によるエンジン不調	燃料の入替え（燃料の抜き方 P.21）
	エンジンの焼付き	メーカー、購入店に問い合わせ

●エンジン不調

症状	原因	対処
力が弱い	エアクリーナーの汚	きれいにする又はフィルタの交換
	キャブレター詰まり（ニードル・バルブ固着）	キャブレター分解掃除 メーカー、購入店に問い合わせ
マフラーから煙が出る	チョークレバーの戻し忘れ	「全開」にする
	エンジンオイルの入れすぎ	オイルを抜く
	ガソリンに水分が含まれている	燃料交換（燃料の抜き方 P.21）
	エアフィルタが水で濡れている	完全に乾かす

●本体の不調

症状	原因	対処
エンジンは回転するが振幅の不整・打撃しない	起振体オイルが多い	オイルを適正量にする（P.12）
	ベルトの破損	ベルトの確認（P.24）

故障かな？と思ったら

点火プラグの点検

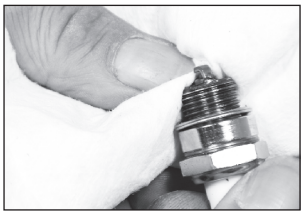
※機種により、プラグの位置、プラグキャップやリコイルの形状等異なります。ご了承ください。

①プラグキャップを外し、付属のプラグレンチでプラグを外し、先端を確認します。

付属のプラグレンチで反時計回りで外します。振動等で緩まないよう少し固めに締め付けています。

先端が濡れている

②燃料で濡れているため布等でよく拭きます。



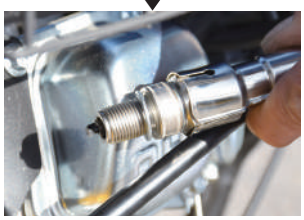
③リコイルスターターロープを引いて（15～20回）、プラグ穴から燃料が出てこないか確認し、出てきたらよく拭き取ります。

先端は濡れていない

②外したプラグをキャップに取付けます。

③スイッチをONにします。

④プラグ先端をエンジン金属部に当てながら、リコイルスターターを引きます。



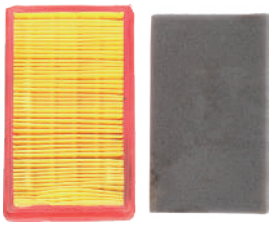
火花が出る

プラグに異常はありません。プラグ先端の濡れは燃料の行き過ぎで起こります。再度エンジンをかけ、確認ください。それでもかからない場合は、他の原因が考えられます。

火花が出ない

エンジンオイル不足かプラグの不良か他の原因が考えられます。購入先にお問い合わせください。

消耗品一覧

商品名		商品コード	
エアフィルタ		hg-ch50p22	
V ベルト		hg-ch50p23	
	市販の互換 V ベルト	BANDO 製　SA-27	

使用することで消耗する部品または劣化する部品は全て保証適用外となります。
ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギア・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリ、点火プラグ等

★上記消耗品をご注文の場合は、下記各サイト又は FAX よりご注文ください。

本店サイト▶https://www.haigeshop.net/
楽天サイト▶https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/
ヤフーサイト▶https://shopping.geocities.jp/haige/

FAX.0276-55-2276 ※次ページのFAXお見積り・注文用紙をご利用ください。

※電話でのご注文は、誤発注・誤発送を回避するため、受付けておりません。
ご迷惑・ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

FAX 見積り・注文用紙　FAX.0276-55-2276

【見積り・注文の流れ】

■見積りの場合
「見積りにチェック」→「太枠内ご記入」→「FAX 送信」→「弊社にて正式金額を FAX 又は TEL でご案内しご注文の有無を確認」

■注文の場合
「注文にチェック」→「太枠内ご記入」→「FAX 送信」→「弊社にて正式金額を FAX 又は TEL でご案内しご注文完了」

通信欄

太枠内をご記入ください。

送信日	令和　　年　　月　　日

□見積り	□注文

ご連絡方法	□FAX	□TEL

本製品ご購入お客様情報			
フリガナ		ご購入時登録の電話番号	
氏　名 会社名	様	普段繋がりやすい電話番号	
ご住所 お届け先	〒　　ー	FAX 番号	

お届け先情報（上記お客様情報と異なる場合はご記入ください。）			
フリガナ		電話番号	
氏　名 会社名	様		
お届け先	〒　　ー	FAX 番号	

代金お支払い方法（お振込み期限 7 日）いずれかにチェックをお願いします。手数料は、お客様ご負担となります。			
	□銀行振込	群馬銀行　館林支店　普通口座　1860509	お振込先口座名義人は、**ハイガー . ハイグサンギョウ（カ**となります。
	□郵便振替	ゆうちょ銀行　記号 10480　番号 32034181	
	□代金引換	代引手数料（1 万円未満：330 円、3 万円未満：440 円、10 万円未満：660 円）	

★弊社で、この FAX 内容を確認後、正式金額をお知らせ致します。

※銀行振込・郵便振替の場合は、入金確認後の商品発送になります。
※代金引換の場合は、商品お届け運送会社に商品代金＋代引手数料をお支払いください。

商品名	商品コード	数量	単価（税込）円	金額（税込）円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
備考			送料	円
			代引手数料	円
			合計	円

保証内容について

2020.11 現在

本規約は、ハイガー産業株式会社（以下「弊社」とする）を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。
弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。
返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1．保証の期間

商品発送日（ご来店引取の場合ご来店日）から 1 年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は 6 ヶ月といたします。
保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。
商品到着日より 7 日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2．保証の適用

・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。（以下、この無料修理を「保証修理」とする）往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定が出来ない場合、保証が受けられない可能性がございます。
・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3．保証適用外の事項

（1）純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
（2）保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
（3）一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
（4）取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
（5）示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
（6）弊社が認めていない改造をされたもの
（7）地震、台風、水害等の天災により生じたもの
（8）注意を怠った結果に起きたもの
（9）薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
（１０）使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象（退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等）
（１１）機能上影響のない感覚的な現象（音、振動、オイルのにじみ等）
（１２）弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
（１３）使用することで消耗する部品または劣化する部品（ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリ、点火プラグ等）
（１４）保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
（１５）商品を使用できなかったことによる損失の補填（休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等）

4．別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5．保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡いただきたく存じます。
またはお近くの修理協力店へご連絡くださいませ。
症状・使用状況を伺い、お手続方法をご案内させていただきます。

6．注意事項

・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料や水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合がございます。
・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがございます。
・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性がございます。
・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合がございます。
・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
・無在庫転売者（送り先が毎回違う購入者）の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。
また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

■アフターサービスについて■
1．販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
2．生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
3．保証期間（1 年間）を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
4．修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
5．修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

お客様ご相談窓口

故障部品を**お客様**で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料は全てお客様のご負担**となります。

お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。

④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガー産業または販売・修理店

②受付
③故障内容の確認

故障部品を**メーカー**で修理する場合

ネット購入や弊社で電話・FAXにてご購入の場合は、弊社にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。

お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。
②送料お客様ご負担で故障装置を発送してください。

⑤お見積り提示。

⑧送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

ハイガー産業

③受付
④故障内容の確認
⑥お見積り了承
⑦故障装置の修理

故障部品を**販売・修理店**で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

お客様

①故障の状況をお電話でご連絡ください。その際、持ち込み修理*1か、引取り修理*2か、出張修理*3かを相談させて頂きます。

⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。
※ご希望に応じて相談させて頂きます。

販売・修理店

②受付　③故障内容の確認　④故障装置の修理

*1 お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。
*2 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。
*3 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

■保証適用について■

・本商品が対象となります。
※ただし、以下の場合は保証適用外となります。
・お客様のメンテナンス・確認不足等によるもの。
・人為的による破損等。
・運送会社など、第三者により生じた支障。
・弊社が故意・過失・他、正常のご使用に反して生じたと判断する全ての支障。

■保証期間について■

・商品が出荷された日・お渡し（ご来店時）から１年間となります。業務用として使用される場合、保証期間は６ヶ月といたします。

◎詳細は「保証内容について」ページをご確認ください。

■初期不良について■

・初期不良期間は、ご使用回数に関係なく到着日から1週間とさせていただきます。
・商品受領後、1週間以内にご連絡ください。
※無償修理又は無償交換のいずれかを弊社判断にて、ご対応させていただきます。
・修理協力店にご依頼の際は、修理工賃・部品代・送料は当社が負担させていただきます。

■消耗品について■

・消耗品につきましては、初期不良以外はすべて有償となります。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

①ご注文番号
②商品名
③商品の型番
④故障の状況
⑤購入サイト、年月日
⑥お名前
⑦ご住所
⑧電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。

24時間365日
無休受付

カスタマー・サポート・センター
お問い合わせ窓口
https://haige.jp/c/

販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。
販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

本店サイト▶https://www.haigeshop.net/html/page3.html
楽天サイト▶https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/support/repair/shop/
ヤフーサイト▶https://shopping.geocities.jp/haige/after.html

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。

「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、
下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。

24時間365日
無休受付

カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口
https://haige.jp/c/

HAIGE

ハイガー産業 株式会社
〒370-0603
群馬県邑楽郡邑楽町中野5298-1
ハイガーオフィシャル 検索
https://haige.jp/

緊急の方へ
電話窓口

ご協力のお願い　お電話が殺到しており、繋がりにくい状態が、続いております。
ご迷惑をおかけしますが、緊急の場合を除き、インターネットからお問合せください。

重要なお願い　お電話を頂く場合は、上記の URL のカスタマー・サポート・センターの「お問合せフォーム」を必ずご参考のうえ、お問い合わせください。ご対応に必要事項が記載されています。

0276-55-2275　○受　付：月～金曜日 **10:00－15:00**　○受付中止：月～金曜日 **12:00－12:50**
◎定休日：土曜日、日曜日、お盆、年末年始、GW

©2019　HAIGE CORPORATION, ALL RIGHTS RESERVED.　無断複製および転載を禁ず

※本説明書発行年月と製品製造年月とは異なります。Made in China　2021.4①発行